

2. 火山の概況

(平成 17 年 1 月 20 日 ~ 平成 17 年 1 月 26 日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていたと推定される。

浅間山では噴煙活動が継続し、火映が観測された。火山活動度レベル（以下レベルと記載）は 3。

三宅島では噴煙活動が継続した。

阿蘇山では熱的な活動のやや活発な状態が続いた。レベルは 2。

霧島山では御鉢の噴気活動がやや活発であった。

桜島では爆発があった。

口永良部島では地震がやや多く発生した。

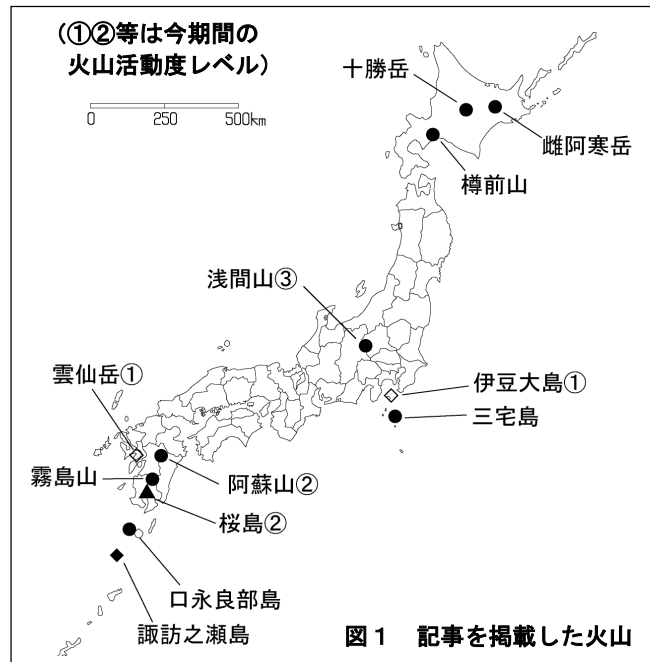


図 1 記事を掲載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山

号	対象期間	浅間山		伊豆大島		阿蘇山		雲仙岳		桜島		雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	三宅島	霧島山	口永良部島	諏訪之瀬島	
		レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号								
4	1/20-1/26	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	▲	●	●	●	●	●	●	●	◆
3	1/13-1/19	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	●	▲
2	1/6-1/12	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	●	▲
1	12/30-1/5	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	●	▲
53	12/23-12/29	③	●	①	◇	②	●	①	◇	②	◇	●	●	●	●	●	●	●	▲

注 1 記号の意味

- ▲：噴火した火山
- ：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山
- ◇：その他記事を掲載した火山
- ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● **雌阿寒岳** [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● **十勝岳** [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていたと推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200m で推移した。

● **樽前山** [熱]

A 火口および B 噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていたと推定される。

● **浅間山** [噴煙・火映・地震・微動] レベル 3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約 500m まで上がった。火映が 23 日に山麓の高感度カメラで観測された。

火山性地震は1日当たり56～99回、火山性微動は同0～2回観測された。

26日に行った上空からの観測¹⁾では、火口内の地形の確認や赤外熱映像装置による温度観測は、噴煙のため実施できなかった。火口周辺に火山灰など新たな噴出物は確認されなかった。

1) 長野県消防防災ヘリコプターにより、産業技術総合研究所と気象庁が実施。

◇ 伊豆大島 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動、地殻変動等の観測データに特段の変化はなかった。

● 三宅島 [噴煙・地震]

白色噴煙は山頂火口より連続して噴出しており、最高で火口縁上約1,000mまで上がった。

火山性地震は22日に42回、24日に16回観測され、それ以外は1日あたり0～2回と少ない状態であった。

● 阿蘇山 [熱・微動・地震] レベル2（やや活発な火山活動）

21日に阿蘇山測候所が行った現地観測によると、中岳第一火口の状況は、湯だまりの色は灰緑色、量は約5割で前期間より減少し（前期間は約6割）、表面温度は67℃とやや高い状態であった（前期間は72℃）。

噴煙は白色で噴煙の高さの最高は火口縁上約500m（前期間300m）であった。

孤立型微動の発生回数は615回であった（前期間は558回）。火山性地震は、21日に52回、25日に53回とやや多く発生した。

地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 雲仙岳 レベル1（静穏な火山活動）

地震活動、噴煙活動とも静穏であった。その他の観測データにも特段の変化はなかった。

● 霧島山 [噴気]

御鉢火口の噴気活動はやや活発で、20～22日及び25～26日に時々噴気が監視カメラで観測され、高さの最高は火口縁上約400mであった。

▲ 桜島 [爆発・降灰] レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火が1回発生し、爆発的噴火であった（前期間は噴火なし）。噴火は23日06時37分に発生し、噴火に伴う噴煙の状況は悪天のため不明であった。噴火が発生したのは2004年11月18日以来であった（爆発的噴火も同じ）。また、有色噴煙が時々観測され、期間中の有色噴煙の最高は火口上約500m（灰白色）であった。

23日に鹿児島地方気象台で降灰が観測され、今期間の降灰量は12g/m²であった（前期間はなし）。鹿児島地方気象台で降灰が観測されたのは、2004年8月28日以来であった。

● 口永良部島 [地震・微動]

火山性地震は、日回数に増減があるものの今期間もやや多い状態が続き、期間中の回数は63回であった（前期間は78回）。火山性微動は、今期間も引き続き継続時間の短いものが時々発生し、期間中の回数は16回であった（前期間は6回）。（図2）

島内に設置した監視カメラによる観測では、新岳及び古岳の噴気活動に変化はなかった。

◆ 諏訪之瀬島

期間中、噴火の発生はなく、火山性地震及び火山性微動の活動も低調であった。

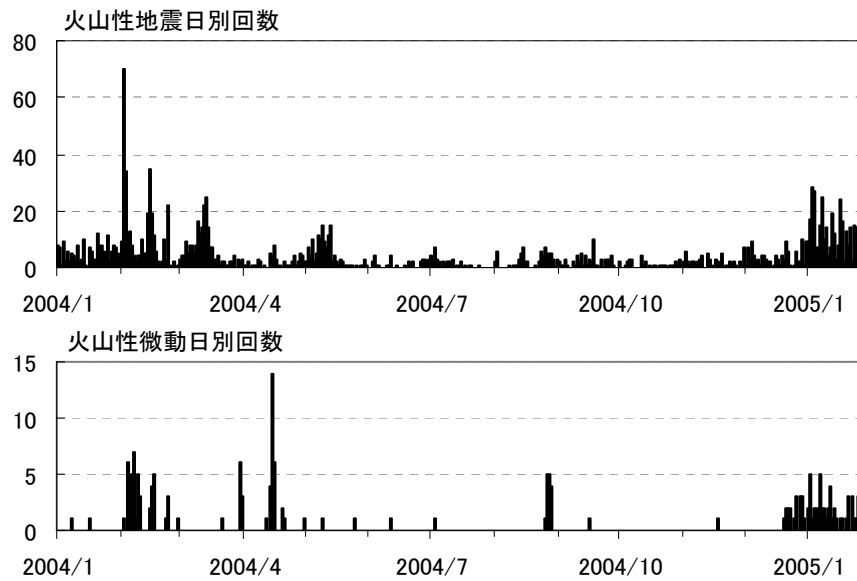


図2 口永良部島 火山性地震及び微動の日別発生回数
(2004年1月1日～2005年1月26日)

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第20号	20日 16:00	前日及び当日00時～15時の活動状況(噴火はなし、噴煙・火映・鳴動・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想)。レベルは3。
	↓(1日1回発表)	↓	
三宅島	火山観測情報第26号	26日 16:00	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第36号	20日 09:30	
	↓(1日2回発表)	↓	
	火山観測情報第49号	26日 16:30	
阿蘇山	火山観測情報第3号	21日 11:15	火山活動は引き続きやや活発(湯だまりの温度高い、地震やや多い)。レベルは2。
口永良部島	火山観測情報第4号	21日 14:00	やや活発な火山活動継続(地震やや多い)。